

## 平成25年度業務計画(案)

電磁界情報センター

### 平成25年度業務計画の考え方(1/2)

東日本大震災・津波被害・原子力発電所事故を通じて、

- 国や事業者が発信する情報への信頼低下
- 放射線をはじめ、さまざまなリスクに対する感受性の高まり(リスク情報の要求)



信頼できる「第三者機関」からの情報発信、リスクコミュニケーションの重要性が高まっている。

<平成25年度の活動>

平成25年度は、23年度策定した中期業務計画の3年目として活動する。

○信頼できる「第三者機関」としての存在感の獲得と、効果的・効率的な情報提供手段の確立を目指し、

- 重要情報に関する詳細調査(文献・訪問など)を充実し専門性を高めるとともに、身近な電磁界の測定調査などを行い、その結果を公開する。
- 一般市民を対象としたセミナー・フォーラムを継続するとともに、行政・教育・メディア・医療など、情報の媒介者を対象とした情報提供活動

に重点を置く。

## 平成25年度業務計画の考え方(2/2)

## &lt;平成25年度業務計画の具体的力点&gt;

## 1. 情報調査業務

- 過去の重要論文および最新論文データの着実な蓄積に努める。
- これまでの太陽光パネル、電気自動車の測定に引き続き、環境中に存在するさまざまな磁界発生源について、自ら磁界測定を実施し、電磁波セミナー、学会、ホームページ等で結果を公開していく。
- 諸外国のプレコーショナリー政策の動向について調査する。
- 商用周波を基本としつつ、新たな発生源にも対応できるよう、情報収集する周波数範囲を拡大していく。

## 2. 情報提供業務

- さまざまな関心事項や知識レベルにあわせた情報提供ができるよう、ホームページやパンフレットおよびコミュニケーションツールの充実を図る。
- 情報の媒介者を対象とした情報提供活動
- さまざまな関係者との信頼向上を目指し、行政や諸団体からの講師派遣依頼など各種要請に積極的に対応する。

## 年度業務計画【情報調査G】(1/2)

## 1. 情報収集・調査

## 1-1. 電磁界関連情報(1次情報)の収集

- 【報道内容】新聞記事検索会社、コンサルタント会社との情報配信契約による情報収集。
- 【研究動向】コンサルタント会社との情報配信契約による情報収集。欧州の電磁界関係機関との連携による情報収集の可能性評価。
- 【社会動向】市民団体機関誌購読、イベント参加やコンサルタント会社との情報配信契約による情報収集。

## 1-2. 入手した1次情報の詳細調査

- 職員による文献調査、関係者インタビュー、現地調査などによる情報検証。

## 2. 情報整理・評価

## 2-1. 電磁界データベースの整備

- 過去論文についてデータベースへの登録を完了させる。学術論文を中心に国内外の電磁界関連公文書も含め継続的に登録する。  
(9月末1万件登録達成) (詳細別ページ)

## 年度業務計画【情報調査G】(2/2)

### 2-2.報道等の内容精査

- 新聞記事および最近出版された書籍を中心に、記事内容について、関係者インタビューや関係文献の調査を行い、結果の公表、報道機関への連絡等を行う。

### 2-3. 研究論文の個別評価

- 専門家ネットワーク、Rapid Response Groupを活用した迅速な論文評価と速報の公表を行う。

### 3.磁界レベルに関する調査

- 「磁界測定プロジェクトチーム」による電気自動車などから発生する変動磁界測定結果を学会等で発表するとともに、HPで公開した。
- 電力設備に対する国際規格に基づいた磁界測定例の動画作成を行う。  
(詳細別ページ)

## 年度業務計画【情報提供G】(1/3)

### 1.情報提供ツールの整備

#### 1-1.ホームページ

- これまでに蓄積した問い合わせ事例からFAQの内容を充実する。
- **スマートフォン対応サイトの整備**

#### 1-2.パンフレット

- 解説版パンフレットを発行した(7月発行)。

#### 1-3.ニュースレター・メールマガジンの発行

- ニュースレター・メールマガジンの継続的発行。内容の充実。

#### 1-4.わかりやすい情報提供ツールの開発

- **WEBセミナーの整備(詳細別ページ)**

### 2.双方向コミュニケーションの実践

#### 2-1.問い合わせ対応

- 問い合わせ対応支援システムを活用した迅速的確な対応。
- 職員研修による専門性とコミュニケーション能力の向上。
- 各分野の専門家との関係による専門的な問い合わせに対する対応実施。

## 年度業務計画【情報提供G】(2/3)

- 2-3. 電磁波セミナー(初級向け)の開催
  - 市町村の「後援」を受けた公共性の高いセミナーを地道に継続する。
- 2-4. 電磁界フォーラム(中級向け)の開催
  - 電磁界の工学から医学、生物学、国際動向やリスクコミュニケーションまで体系的な理解を促進するためのフォーラムを検討する。
- 2-5. 対象層に特化した啓発活動の実施
  - 学校保健関連等の学会、大会への出展およびランチョンセミナーの開催(詳細別ページ)
  - 報道関係者との定期的な電磁界勉強会の実施。
  - 妊婦への正しい情報提供を目指した、専門家招聘による「電磁界に関する妊婦の知識啓発検討会(仮称)」活動(詳細別ページ)。
- 2-6. 要請による電磁界説明会の実施
  - 各消費者生活センターへのダイレクトメール郵送による説明会ニーズの掘り起こしと要請への積極的な対応。
  - 消費者団体等からの講師派遣要請への積極的な対応。

## 年度業務計画【情報提供G】(3/3)

- 3. リスク・コミュニケーション促進活動
  - 3-1. 情報の送り手を対象としたリスク・コミュニケーション研修の実施
    - 電気事業者等を対象としたリスクコミュニケーション研修の企画・運営。
      - 欧州の電磁界コミュニケーション方法の動向
      - スマートメーターに関する米国のリスクコミュニケーション事例
  - 3-2. リスク・コミュニケーション事例調査・手法検討
    - 欧州におけるリスクコミュニケーション事例等調査。
  - 3-3. 電磁界に関する市民の意識調査
    - 大学に委託した調査結果をふまえ、センター業務計画への活用等を検討する。

## 年度業務計画【管理G】

1. 新規賛助会員募集、賛助会員数の維持・拡大
  - 第2号会員・第3号新規会員および継続に向けた積極的な広報活動。
  - 新規第1号会員の獲得努力。
2. 各種委員会の開催
  - 2-1. 運営委員会
    - 議論を中心とした年2回程度の開催運営。
3. 規程類の検討・整備
  - 業務の円滑化および品質統一化を目的とした規程体系の整備。
4. 業務効率化
  - 固定費、管理費の削減による効率的な業務運営。
5. センター内教育の企画・管理
  - 職員の知見向上に資するセンター内教育の企画と管理。

## 詳細説明

1. 電磁界データベースの整備
2. 磁界測定プロジェクトチーム
3. 磁界測定器無料貸出に伴う問合せ件数の変化
4. 対象層に特化した啓発活動
5. WEBセミナー開発
6. 電磁界に関する妊婦の知識啓発検討会(仮称)設置

## 電磁界データベースの整備

### 〔データの整備・充実〕

#### ○平成25年度の重要ポイント

- ・過去論文の登録を完了させる。
- ・学術論文の積極的なデータ収集を継続する。
- ・国内外の規制、公文書等のデータを重点的に収集する。

平成25年3月31日		10月8日現在	
=分類=	件数		件数
学術論文	6,457		10,159
国際組織刊行物・国外公文書等	273		297
国内公文書	58		58
規制・ガイドライン・技術指針	28		32
一般書籍・報告書	17		67
その他	7		14
合計	6,840		10,627

10

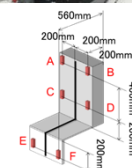
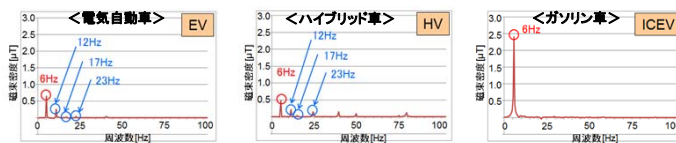
電磁界情報センター 

## 磁界測定プロジェクトチーム(1/3)

### 自動車内の磁界測定

#### 測定結果(抜粋)

- 各車種から発生する磁界の周波数特性の一例(測定条件;時速40km・運転席・脚部)



測定位置

- ICNIRPガイドライン値との比較

車種	測定条件		ピーク周波数 [Hz]	最大磁界値 [ $\mu T$ ]	ICNIRP ガイドライン値 [ $\mu T$ ]
	速度 [km/h]	位置			
電気自動車	10	運転席・脚部	1	1.38	40,000
ハイブリッド車	10	助手席・脚部	1	1.38	40,000
ガソリン車	40	運転席・脚部	6	4.20	1,111

$$\sum_{j=1}^{10MHz} \frac{H_j}{H_{R,j}} \leq 1$$

$H_j$ : 周波数での磁束密度

➡ 電気自動車とハイブリッド車複数のピーク周波数があるが、磁界参考レベルに対する割合を加算した値(式)も、ガイドライン値よりも小さい値。

#### 公開実績

- 電気学会 全国大会 (H25.3:名古屋)
- BioEM2013 (H25.6:ギリシャ)
- 電磁界情報センター ホームページ
- ニュースレター (JEIC NEWS No.27, JET Report No.60)

11

電磁界情報センター 

### 磁界測定プロジェクトチーム(2/3)

#### 電気自動車用充電器からの磁界測定

	急速充電器1	急速充電器2	普通充電器1	普通充電器2
充電器タイプ	急速充電器	急速充電器	モード2 普通充電器	モード3 普通充電器
定格入力	3相AC200V 49kW	3相AC200V 49kW	単相AC200V	単相AC200V
定格出力	DC500V最大 DC125A最大	DC500V最大 DC125A最大	AC200V AC15A	AC200V AC16A
外形寸法	1700x750x640 mm	1840x380x600 mm	260x100x60 mm	1550x260x364 mm



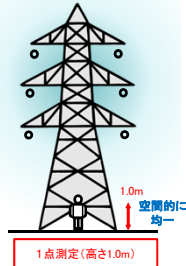
→ 今年度は測定結果の学会  
投稿等による公表を目指す

### 磁界測定プロジェクトチーム(3/3)

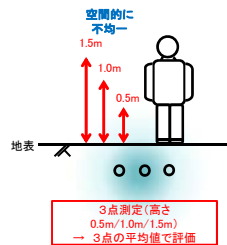
#### 平成25年度 磁界測定(案)

電力設備からの磁界測定を予定

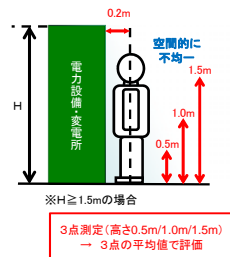
- ・ 架空送電線
- ・ 配電線



- ・ 地中ケーブル

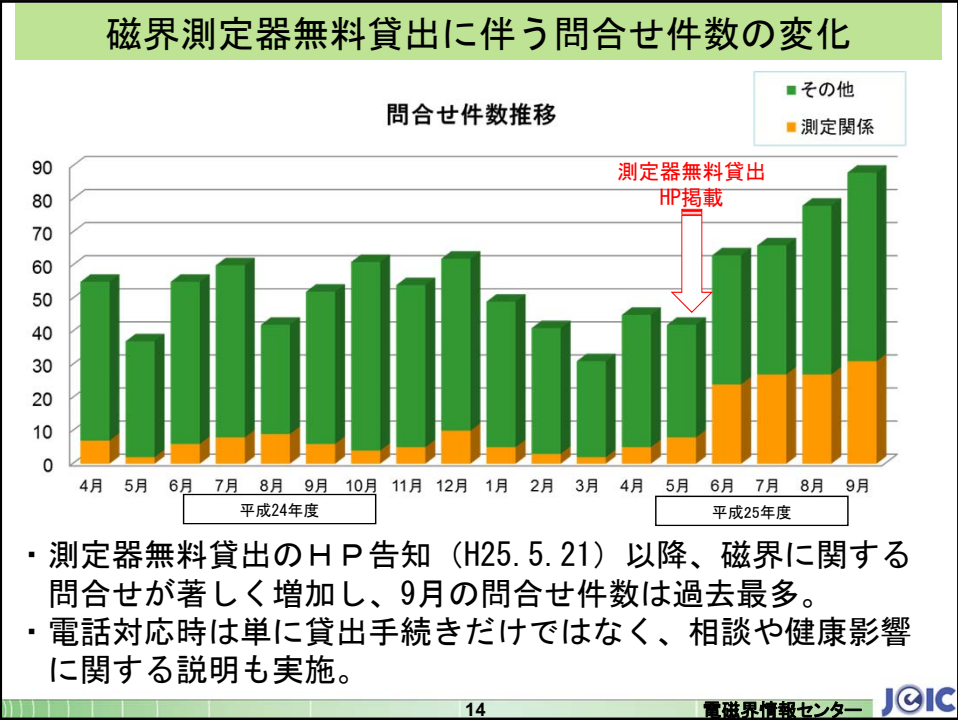


- ・ 変電所
- ・ 路上変圧器
- ・ ケーブル立ち上がり部



#### 測定の概要

- 2011年に改正された「電気設備に関する技術基準を定める省令」及び「解釈」に示された測定方法で測定
- 測定方法を動画撮影して、ホームページに掲載



### 対象層に特化した啓発活動（1 / 3）

区分	概要		出展		ランチョンセミナー		広告		折込	
	名称	規模	24Fy	25Fy	24Fy	25Fy	24Fy	25Fy	24Fy	25Fy
学校保健関連	関東甲信越静学校保健大会	1,000名		●						
	全国養護教諭研究大会	1,000名	●	●				●	●	●
	全国学校保健主事研究協議会	250名								●
	日本保育園保健学会	800名		●				●		
	日本養護教諭教育学会	400名		●		●		●		
	全国学校保健研究大会	1,200名	●				●	●		
	日本学校保健学会	1,500名	●	●	●			●		
全国養護教諭連絡協議会	1,000名		●					●	●	
関連生	日本公衆衛生学会総会	3,500名	●	●		●		●		
	日本公衆衛生学術集会	600名	●		●		●			
	日本公衆衛生看護学会	690名		●		●		●		
回数			5	8	2	3	2	7	2	3

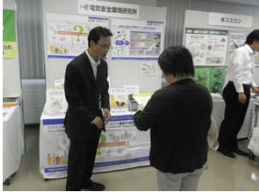
※出展での資料請求数実績 平成24年度 なし ➡ 平成25年度 1,086部


15 電磁界情報センター JQIC



## 対象層に特化した啓発活動(2/3)


出展状況





ノベルティグッズによる集客  
(JEIC認知度向上と要望確認)


メディア・学会等を  
活用した広報



日本学校保健会発行会報「学校保健」への  
ちらし折込予定(11月)

- ・発行部数: 116,600部
- ・読者対象: 養護教諭、保健主事、  
学校管理職、学校医、学校  
歯科医、学校薬剤師、教育行政  
関係者ほか
- ・学校配布数: 小中学校、高等学校、特別  
支援学校他 3万8千校

教育家庭新聞からの取材対応・  
広告掲載 教育関係者23万人購読

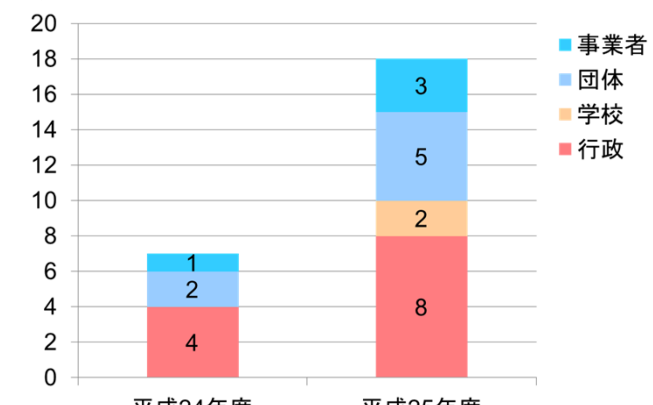
16
電磁界情報センター 

## 対象層に特化した啓発活動(3/3)


### 行政等からの講師派遣依頼等への対応状況

身のまわりの電力設備、家電製品やIH調理器、携帯電話等から発生する  
電磁波の健康影響に関する講演等

(件数)




年度	行政	学校	団体	事業者	合計
平成24年度 (実施7件)	4	0	2	1	7
平成25年度 (実施7件+申込12件)	8	2	5	3	18

17
電磁界情報センター 

## WEBセミナー開発

**目的：会場に來れない方でも電磁波セミナーを聴講できるWEBセミナーを開発する。**

▼JEIC電磁界情報センターサイトトップ (<http://www.jeic-emf.jp/>)



**作成イメージ**

ムービー紹介ページへリンクするバナーを設置し、バナーをクリックすると、ムービー紹介ページが別ページで表示される予定。

▼ページ構成

### 電磁波の健康影響と電磁波リスクとの付き合い方

#### [1] 電磁波の健康影響

電磁界は、健康にどのような悪影響を及ぼすのでしょうか？  
身近な存在である電磁波が私たちのからだにもたらす影響についてご説明します。

**1 ムービー再生エリア**  
ムービー再生エリア下の各項目ボタンを押すと、該当する講演動画が再生される。  
(説明が必要な箇所は、講演スライドの内容が動画で表示される)

**2 ポイント**  
各講演動画のポイントをテキストで表示する。  
再生している動画に合わせて切り替わる。

**3 人物画像(写真)**  
所長の写真を挿入する。  
※スタジオで撮影する写真を切り替えて表示。

**4 PDFダウンロードボタン**  
ボタンをクリックするとセミナーのレジュメをPDF形式でダウンロードできるようにする。

**1** 動画再生エリア

**2** ポイント

電磁波の健康影響は…  
テキストテキストテキストテキスト  
テキストテキストテキストテキスト

電磁界情報センター所長  
大久保 千代次

**3** 人物画像

**4** PDFダウンロード

はじめに      低周波電磁界について

中間周波電磁界について      高周波電磁界について

2011年のIARCの発表に対してのWHO本部の対応について

18 電磁界情報センター JEIC

## 電磁界に関する妊婦の知識啓発検討会（仮称）設置

超低周波電磁界の健康影響については、「小児白血病」との関連が指摘されていることもあり妊婦等からの電磁界ばく露に伴う胎児への健康不安の問合せが多数寄せられおり、妊婦の過大な不安を払拭させ、正しい理解促進に繋がるような知識啓発活動が重要と考えられる。

したがって、日頃、妊婦と接する機会が多い医療・保健関係者と連携した『電磁界に関する妊婦の知識啓発検討会(仮称)』を設置するものである。

検討概要

1. 検討期間  
平成25年12月～（2か年を予定）
2. 検討体制  
母子保健関係者、関係行政担当者 7～8名
3. アウトプット
  - ①妊婦向けの電磁界と健康リスクに関するパンフレット
  - ②伝達ルートの確立
4. 配布場所：産科医院、保健所、自治体等

19 電磁界情報センター JEIC